Ｌ455Ｆ-0008313・0008353～、Ｌ465Ｆ-0002365～

2011年12月以降

ドアポケットに入れてお使いください

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
LUCRA を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて LUCRA に触れられるときにぜひご一読ください。

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

フロントワイパー＆ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが“ON”のとき使用できます。

MIST	レバーを上に押し上げている間、作動
OFF	停止
INT	間欠で作動
LO	低速で連続作動
HI	高速で連続作動
	レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液を噴射し、ワイパーが作動

リヤワイパー＆ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが“ON”のとき使用できます。

（上側）	ワイパーが作動中にウォッシャー液を噴射し、手を離すと「ON」に戻る
ON	連続で作動
OFF	停止
（下側）	ウォッシャー液が噴射し、手を離すと「OFF」に戻る

※フロントワイパーが作動中、または作動後約10秒以内にセレクトレバーをⓇにすると、リヤワイパーが数回作動します。

駐車ブレーキ

●かけるとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足で駐車ブレーキペダルを確実に踏み込みます。

●解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足で駐車ブレーキペダルを「カチッ」と音がするまで踏み込みます。ゆっくり左足を離し、解除します。

イルミネーションスイッチ

スイッチを押すことによって、イルミネーションの点灯、消灯の切り替えができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

フューエルリッドオープナーレバー

燃料の補給

①エンジンは必ず止めてください。

②フューエルリッドオープナーレバーを引き、フューエルリッドを開けます。

③フューエルキャップを左に回して開けます。

④燃料補給後は、フューエルキャップを「カチッ」という音がするまで、右に回して閉めます。

⑤フューエルリッドを、ロックするまで手で押しつけて閉めます。

使用燃料：無鉛レギュラーガソリン

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては ✿マークがついています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ライティングスイッチ

OFF	消灯
●	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
≣D	上記●に加えてヘッドランプが点灯

- **ヘッドランプの上下を切り替える**
  レバーを前に押すと上向き、元に戻すと下向きになります。
- **パッシング**
  レバーを手前に引くと、ヘッドランプは上向きになります。

車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フォグランプスイッチ ✿

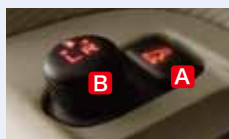
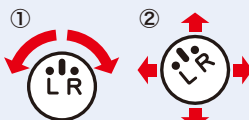
ライティングスイッチが ●
または≣Dのときに使えます。

≢D	フロントフォグランプが点灯
OFF	消灯

光軸調整ダイヤル ✿

乗員数や積載量等によってヘッドランプが上向きを照らすことがあります。このようなとき、このダイヤルを調整し照らす向きを下げることができます。（数字が大きいほど下向き。通常はダイヤル「0」の位置で使用）

電動格納式ドアミラー

●ミラー格納 A
ミラー格納スイッチを押すと、ミラーを格納することができます。もう一度押すと元に戻ります。

●角度調整 B
①ノブを調整する側（L または R）にまわします。
②ノブを上下左右に動かして、ミラーの角度を調整します。

①
②
※イラストはL側（助手席側）を調整する場合

パワーウインドゥ

●運転席ウインドゥスイッチ A
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。「カチッ」と音がするまで押し下げる、または引き上げると自動的に全開、全閉します。
途中で止めるときは、軽く逆方向にスイッチを操作します。

●助手席／リヤウインドゥスイッチ B
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。

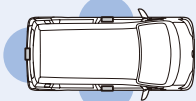
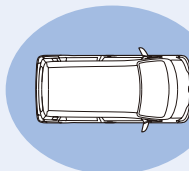
●ロックスイッチ C
スイッチの右側（マークの付いている方）を押すと運転席以外のウインドゥは操作できなくなります。
スイッチの左側（マークのない方）を押すと解除されます。

「アイドリングストップ※」OFFスイッチ ✿

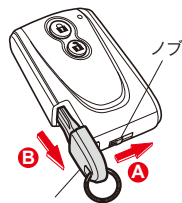
アイドリングストップ機能を停止したいときに押します。詳細は6ページ参照。

※本書ではeco IDLEを「アイドリングストップ」と表記しています。

ドアの施錠・解錠

●キーレスアクセス
アクセスキーを所持して作動範囲内に入り、フロントドアハンドル、またはリヤゲートハンドル下側のスイッチを押すごとに、すべてのドアの施錠・解錠ができます。

●電波式リモコンドアロック
ドアが施錠された状態で、
UNLOCK ボタン を押すと、インジケーターが 1 回点滅し、すべてのドアが解錠されます。
LOCK ボタン を押すとインジケーターが 1 回点滅し、すべてのドアが施錠されます。

・心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。
・強い電波ノイズがあるときや、キーの電池残量が少なくなったときは、キーレスアクセスや電波式リモコンドアロックが正常に作動しないことがあります。

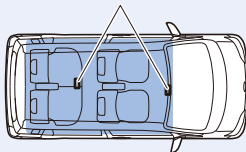
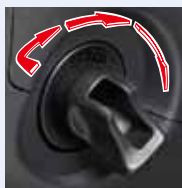
電池の消耗などによりアクセスキーが使用できない場合は、メインキーまたはメカニカルキーを使用してドアの施錠・解錠をしてください。

●メカニカルキーの取り出し方
アクセスキーのノブを矢印の方向 Ⓐ にスライドさせたまま、アクセスキーから、メカニカルキーを引き抜きます Ⓑ。

・盗難警報装置がセットされている場合、アクセスキー以外でドアを解錠してドアを開けると、警報が作動します。下記の方法でエンジンスイッチを"ON"にして、警報を停止してください。

●警報の止め方
（メカニカルキーの場合）
①アクセスキー裏面のスバルマーク付近をエンジンスイッチに接触させます。
②メカニカルキーをエンジンスイッチのキー挿入口に挿入します。
③エンジンスイッチを押します。
④エンジンスイッチを押したまま"ON"の位置にすると警報を停止できます。
（メインキーの場合）
①メインキーをキー挿入口に挿入し、エンジンスイッチを押します。
②エンジンスイッチを押したまま"ON"の位置にすると警報を停止できます。

キーレスアクセス&スタートでのエンジンの始動

キーの差し込み操作なしでエンジンの始動、停止ができます。

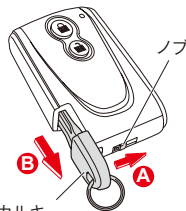
①アクセスキーを携帯し、運転席に座ります。
②駐車ブレーキをかけ、セレクトレバーが P レンジにあることを確認します。
③ブレーキペダルをしっかり踏みます。
④ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押して、START の位置まで回します。

● --- 作動範囲
車室内です。

アクセスキー

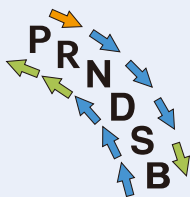
エンジンスイッチ

LOCK	メインキー、メカニカルキーを抜き差しする位置です。 ハンドルがロックされ、キーレスアクセスの通信を開始します。
ACC	エンジンを止めたまま、オーディオが聞ける位置です。 キーレスアクセスの通信は解除されます。
ON	エンジン回転中の位置です。 キーレスアクセスの通信は解除されます。
START	エンジンを始動するときの位置です。 手を離すと自動的に“ON”の位置に戻ります。

電池の消耗などにより、アクセスキーでエンジンが始動できない場合、アクセスキーに内蔵されているメカニカルキーを使用してください。

※アクセスキーのノブを矢印の方向Ⓐにスライドさせたまま、アクセスキーから、メカニカルキーを引き抜きますⒷ。

①アクセスキー裏面のスバルマーク付近をエンジンスイッチに接触させます。
②メカニカルキーをエンジンスイッチのキー挿入口に挿入します。
③エンジンスイッチを押します。
④エンジンスイッチを押したまま回します。

セレクトレバーの操作

セレクトレバー部には、レバーを動かすときに使用するセレクトレバーボタンが装着されています。

➡ ブレーキペダルを踏みながらセレクトレバーボタンを押して動かします。
➡ セレクトレバーボタンを押して動かします。
➡ そのまま動かします。

※ **S**…上り坂や下り坂を走行するときの位置[前進]
（エンジンブレーキが必要なときの位置）

※ **B**…急な上り坂や下り坂を走行するときの位置[前進]
（強いエンジンブレーキが必要なときの位置）

L455F-0008313・0008353～、L465F-0002365～

アイドリングストップシステム

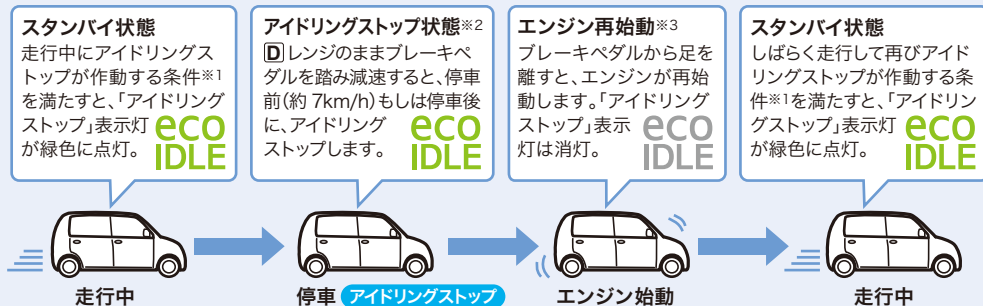
「アイドリングストップ」は、エンジン暖機後に信号待ちや渋滞などで減速した際、停車前（車速約 7km/h）もしくは停車後に、燃費向上や排気ガス低減、アイドリング騒音低減のため、自動でエンジンを停止（アイドリングストップ）、再始動させるシステムです。

アイドリングストップ、エンジンの再始動

スタンバイ状態
走行中にアイドリングストップが作動する条件※1を満たすと、「アイドリングストップ」表示灯 eco IDLE が緑色に点灯。

アイドリングストップ状態※2
D レンジのままブレーキペダルを踏み減速すると、停車前（約 7km/h）もしくは停車後に、アイドリングストップします。 eco IDLE

エンジン再始動※3
ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。「アイドリングストップ」表示灯は消灯。 eco IDLE

スタンバイ状態
しばらく走行して再びアイドリングストップが作動する条件※1を満たすと、「アイドリングストップ」表示灯 eco IDLE が緑色に点灯。

●坂道でのアイドリングストップ

坂道でアイドリングストップした場合、ヒルスタートアシストが作動します。
ヒルスタートアシストとは、アイドリングストップからブレーキペダルを緩めてエンジンが再始動する際、最長約2秒間ブレーキ力を保持するシステムです。エンジンが再始動する際、坂道発進時の後退を軽減します。
（停車中はブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。）

● 「アイドリングストップ」表示灯／警告灯

表示灯／警告灯の状態		点灯／点滅条件
eco IDLE	緑色 点灯	・電源を“ON”にしたとき（数秒後に消灯） ・アイドリングストップが作動可能な条件※1を満たしたとき ・アイドリングストップ中
eco IDLE	緑色 高速点滅	・アイドリングストップ中に、運転席シートベルトを外したとき（警告ブザー吹鳴） ・アイドリングストップ中に、運転席ドアまたはボンネットを開けたとき（警告ブザー吹鳴）
eco IDLE	緑色 低速点滅	・アイドリングストップ中に、アイドリングストップが作動可能な条件※1を満たさなくなり、エンジンが再始動したとき（数秒後に消灯）
eco IDLE	橙色 点灯	・「アイドリングストップ」OFF スイッチでシステムを停止したとき
eco IDLE	橙色 点滅	・アイドリングストップシステム異常 ・エンジン部品（スターター）やバッテリーが交換時期のとき ⇒スバル販売店で点検を受けてください。
eco IDLE	消灯	・アイドリングストップが作動可能な条件※1を満たしていないとき ・アイドリングストップからエンジンが再始動したとき

「アイドリングストップ」OFF スイッチ

アイドリングストップを“OFF”したいときに、スイッチを押します。“OFF”にすると、メーター内の「アイドリングストップ」表示灯が橙色に点灯します。

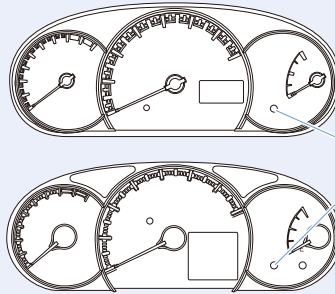
eco IDLE
「アイドリングストップ」表示灯

※　：本書では eco IDLE を「アイドリングストップ」と表記しています。
※1：アイドリングストップが作動可能な条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。
※2：アイドリングストップ中の操作については、取扱説明書を参照してください。
※3：エンジン再始動条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。

エコ表示

エコ表示の設定が "Eco On" のとき、走行状態に応じてエコ運転（二酸化炭素排出量の少ない環境にやさしい運転）の度合いを判定しエコ表示が変化します。

エコ表示の表示／非表示設定切り替え方法

①オド／トリップ表示切り替え・リセットスイッチを押して、"Eco On"（または"Eco OFF"）を表示します。
②オド／トリップ表示切り替え・リセットスイッチを約1秒以上押し続けるごとに、"Eco On"、"Eco OFF"が切り替わります。

エコ表示

●Info-ECO（インフォ・エコ）ランプ

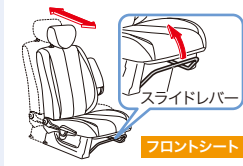
走行状態に応じて点灯、消灯します。
走行速度にあったアクセルペダルの操作でエコ運転をしていると、点灯します。
タイプA、タイプCメーターのアイコン位置は、P10,11をご覧ください。

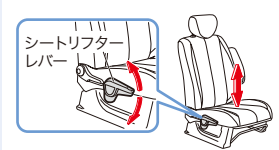
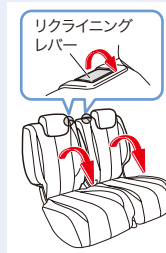
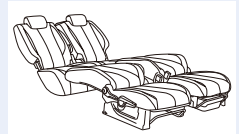
〈タイプBメーター〉
「アイドリングストップ装備車」

●eco リーフゲージ ✤

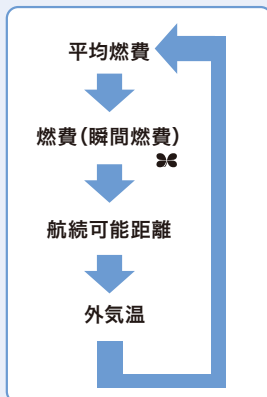
走行状態に応じて目盛りが①〜⑥の段階で増減、または消灯します。
走行速度にあったアクセルペダルの操作でエコ運転をしていると、目盛りが増えます。

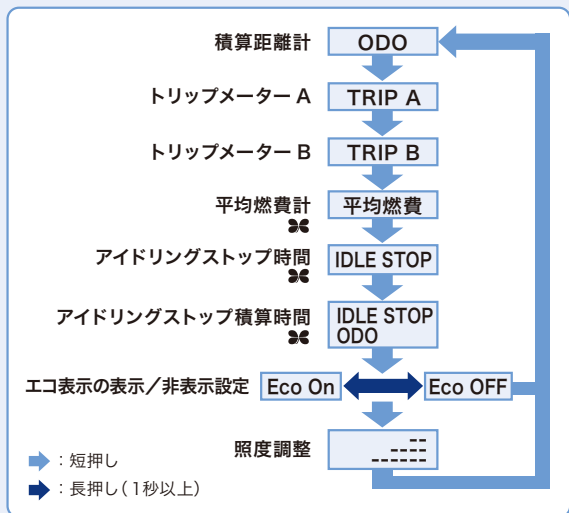
シートの調整・機能

●シートスライド調整
シート下のスライドレバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。

●リクライニング調整
リクライニングレバーを引き上げながら背当ての角度を調整します。

●運転席シートリフター
シートリフターレバーを引き上げるごとにシート全体が上昇し、押し下げるごとにシート全体が下降します。

●背当ての前倒し
リヤシートを操作することで、カーゴルームを広くすることができます。
①かみ込み防止のため、格納ホルダーにシートベルトをかけます。
②リクライニングレバーを引き上げながら背当てを前に倒します。

●ソフトフラットシート
①リヤシートのヘッドレストを一番下の位置にします。
②リヤシートを後方いっぱいまでスライドさせます。
③リヤシートの背当てを倒します。
④フロントシートのヘッドレストを外します。
⑤フロントシートを前方いっぱいまでスライドさせます。
⑥フロントシートの背当てをリヤシートのクッションと同じ高さになるまで倒します。

元に戻すときは、逆の手順で操作してください。

マルチインフォメーションディスプレイ

電源が"ON"のとき、メーター内のディスプレイ表示切り替えスイッチを押すごとに、表示を切り替えることができます。

オドメーター／トリップメーター

電源が"ON"のとき、メーター内のオド／トリップ表示切り替え・リセットスイッチを押すごとに、表示を切り替えることができます。

エアコンの操作

室内の冷暖房、除湿、曇り取りなどができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

マニュアルエアコン

吹き出し口切り替えダイヤル
イラストの方向へ風が出ます。
- 上半身
- 上半身と足元
- 足元
- 足元と窓ガラスの曇り
- 窓ガラスの曇り

USE WITH の位置のときは外気導入をお勧めしますというマークです。

A/C スイッチ
冷房、除湿機能を作動、停止します。

リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥガラスの曇りを取るときに使用します。

温度調整ダイヤル
風の吹き出し温度を調整します。

風量調整ダイヤル
吹き出し口からの風の強さを切り替えます。

内外気切り替えレバー
内気循環、外気導入を切り替えます。
：内気循環　：外気導入
※通常は外気導入でお使いください。

オートエアコン

リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥガラスの曇りを取るときに使用します。

温度調整ダイヤル
室内の温度を調整します。設定温度が表示部に表示されます。

表示部

フロントデフロスタースイッチ
ガラスの曇りを取ります。

AUTO スイッチ
スイッチを押すと、吹き出し口、風量、および内外気の切り替えが自動的に調整されます。

MODE スイッチ
吹き出し口を選択します。選択された吹き出し口が表示部に表示されます。

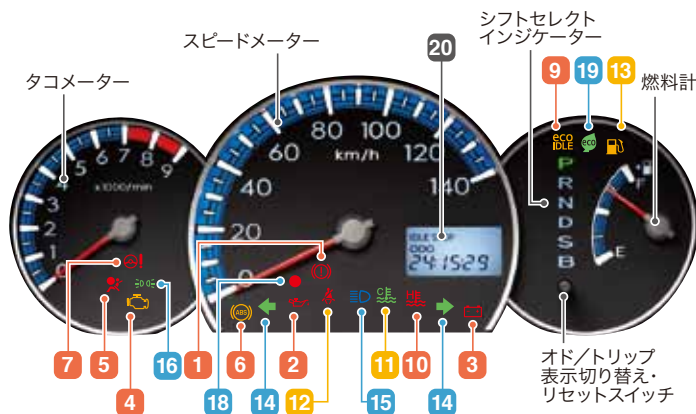
OFF スイッチ
空調機能を停止します。

A/C スイッチ
冷房、除湿機能を作動、停止します。

内外気切り替えスイッチ
内気循環、外気導入を切り替えます。内気循環のときに 、外気導入のときに が表示部に表示されます。通常は外気導入でお使いください。

風量調整（ファン）スイッチ
吹き出し口からの風の強さを調整します。風量が表示部に表示されます。

表示灯・警告灯

〈タイプA〉

〈タイプB〉

1 ブレーキ警告灯

駐車ブレーキがかかっているとき点灯。ブレーキ液量が不足しているとき点灯。EBD 制御異常時に点灯。

2 オイルプレッシャー警告灯

エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

5 SRSエアバッグ警告灯

エアバッグシステムに異常があるとき点灯。

6 ABS警告灯

アンチロックブレーキシステム(ABS)異常時に点灯。

9 「アイドリングストップ」表示灯/警告灯

アイドリングストップシステムに異常があるとき橙色に点滅。表示灯についての詳細は6ページ参照。

10 水温警告灯

エンジン冷却水温が異常に高くなると点滅し、その後、さらに水温が高くなると点灯。

13 燃料残量警告灯

燃料残量が 2WD 車は約 6L、AWD 車は約 5.5L 以下になると点灯。

14 方向指示器表示灯

エンジンスイッチが"ON"のとき、方向指示灯を点滅させると同時に点滅。非常点滅灯を点滅させると同時に点滅。点滅間隔が異常に速いときは電球切れが考えられる。

17 フォグランプ表示灯

フォグランプが点灯しているとき点灯。

18 セキュリティ表示灯

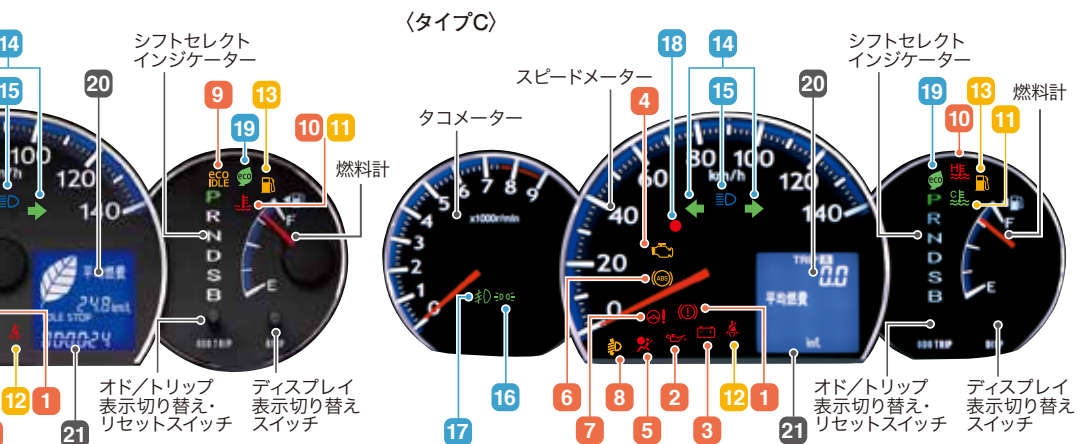
盗難防止機能がはたらいているとき点灯/点滅。詳しくは取扱説明書を参照。

20 オドメーター/トリップメーター

8 ページ参照。

21 マルチインフォメーションディスプレイ

8 ページ参照。

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

3 チャージ警告灯

充電系統に異常があるとき点灯。

4 エンジン警告灯

エンジン電子制御システム異常時に点灯または点滅。

7 ステアリング制御警告灯

電動パワーステアリングシステムに異常があるとき点灯。

8 オートレベライザー警告灯

ロービームのオートレベリング機能に異常があると点灯。

11 水温表示灯

エンジンスイッチが"ON"のとき、エンジン冷却水温が低いときに点灯。

12 シートベルト警告灯

運転席シートベルト未着用時に点滅。
そのまま約 20km/h 以上で走行するとブザーが鳴る。

15 ハイビーム／パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きのとき点灯。
パッシング時も点灯。

16 ライティングスイッチ表示灯

車幅灯が点灯しているときに点灯。

19 Info-ECO(インフォ・エコ)ランプ

二酸化炭素排出量の少ない、環境にやさしい運転をしていると点灯。詳しくは取扱説明書を参照。

1～10 異常時に点灯／点滅します。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

11～13 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

14～19 各装置の状態を示します。

エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

L455F-0008313・0008353〜、L465F-0002365〜

日常点検／Q&A

★点検箇所は搭載エンジンによって異なります。詳しくはメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

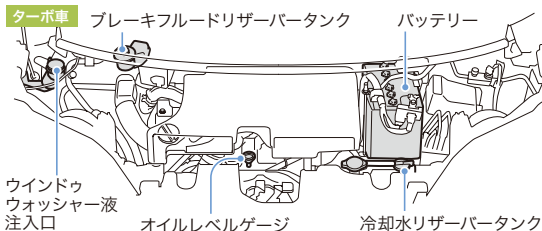
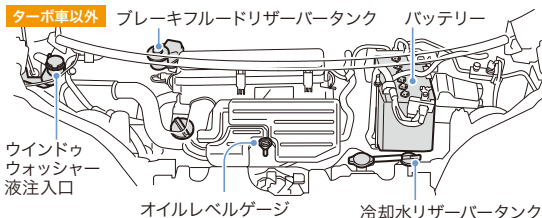
日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法についてはメンテナンスノート 3章をお読みください。

■エンジンルーム内

●下記の項目の内容量を点検してください。

ターボ車以外

ターボ車

■車のまわり

●タイヤの空気圧／き裂、損傷、異常摩耗がないか／溝の深さを点検します。

4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

■運転席に座って

●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

■走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

困った時のQ&A

Q リモコンキー、アクセスキーでドアが開かない

A 電波ノイズの影響や、リモコンキー、アクセスキーの電池の消耗で正常に作動しないことがあります。ドアのキー挿入口にキー（アクセスキーの場合はメカニカルキー）を差し込み回して解錠してください。詳細は4ページを参照してください。
電池交換はスバル販売店に依頼することをおすすめします。

Q リモコンキー、アクセスキーでドアを解錠しても自動で施錠してしまう

A リモコンキー、アクセスキーで解錠してから、ドア・リヤゲートを開けないまま約30秒経つと自動で施錠します。

Q キーまたはエンジンスイッチが”LOCK”から”ACC”の位置に回らない

A ハンドルがロック（ステアリングロック）されています。解除するには、

キーレスアクセス&スタート装備車以外：
ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

キーレスアクセス&スタート装備車：
ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを押し込んで回してください。

※“ON”にするときは、ブレーキペダルを必ず踏んでください。

●お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUお客様センター
SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
（1）ご意見／ご感想／ご案内（カタログ、販売店、転居お手続 他）
（2）お問合わせ／ご相談

SUBARUコール0120・052215
受付時間 【平日】 9:00〜17:00
【土日祝】 9:00〜12:00、13:00〜17:00
※平日の12:00〜13:00および土日祝は（1）のインフォメーションサービスのみとなります。

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンターお客様相談部
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2（スバルビル）

お問い合わせ先スバル販売店

●スバル最新情報をインターネットで。 **www.subaru.jp**

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンター
〒160-8316 東京都新宿区西新宿1-7-2 スバルビル

発行 2011年12月 Printed in Japan KB
Publication No. F5690JJ-A